

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE

マルチデバイスサーバーR603

(MMDS R603)

ハードウェアマニュアル

November 8, 2016

Version 1.0

Copyright (C) 2013-2016 MEDIAEDGE Corporation

目次

I. はじめに	1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項	2
■ 注意事項	3
■ 個人情報の取扱いについて	3
■ 商標について	3
■ 警告	4
I-2. ご使用前に	5
■ パッケージ内容の確認	5
■ 当社ホームページについて	6
I-3. 留意事項	7
■ 表記について	7
■ ご注意	7
■ 利用許諾について	7
II. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーについて	8
II-1. 概要と特長	9
■ II-1-1. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの概要	9
■ II-1-2. 主な機能	9
■ II-1-3. 対応する WEB ブラウザやエンコーダ	9
II-2. 各部の名称	10
■ II-2-1. 本体前面・背面	10
■ II-2-2. ランプの種類	11
II-3. システムの起動と停止	12
■ II-3-1. システムの起動	12
■ II-3-2. システムの停止	12
II-4. その他のシステム設定	13
■ II-4-1. システムの時刻補正	13
■ II-4-2. システムの自動再起動について	エラー! ブックマークが定義されていません。
III. Appendix	14
III-1. ハードウェア仕様・対応ファイル形式・標準設定・外形サイズ	15

I. はじめに

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーのご使用やセットアップの前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

I-1. 本製品を使用される際の注意事項

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL: 078-265-1552

FAX: 078-265-1550

(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00

※土日祝および当社指定休日を除く)

⊘ 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

⊘ 分解しない

ケースを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

⊘ ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

⊘ 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、本体の電

源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⊘ 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⊘ ぬれた手で AC アダプターを触らない

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⊘ 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。

⊘ 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⊘ 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用したりしないでください。火災や製品の故障の原因となります。製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⚠ 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。

電源コードやケーブルは整理して配置してください。足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。

⚠ お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電や製品の故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから外してください。

⚠ 付属の電源コード以外は使用しない

付属の電源コード以外の製品を使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

⚠ 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

■ 個人情報の取扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施
当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。

※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。

- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認。
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、ご意見は <http://www.mediaedge.co.jp> までご連絡ください。

■ 商標について

- ① MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- ② HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ③ Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- ④ その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

■ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と

相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

I-2. ご使用前に

■ パッケージ内容の確認

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーのパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。

製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました販売店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL: 078-265-1552

FAX: 078-265-1550

(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝および当社指定休日を除く)

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの同梱物

- MEDIAEDGE マルチデバイスサーバー本体 x 1
- 電源ケーブル x 2
- USB マウス x 1
- USB キーボード x 1
- マニュアルDVD x 1
操作マニュアル、ハードウェアマニュアル収録
- R603 付属 DVD x 1式
OS リカバリーCD、他
- 制限事項（差し込み）x 1
現行ソフトウェアでの制限事項
- お客様情報登録案内 x 1
- 同梱物一覧書 x 1

オプション(オプションご購入時)

- ライブ(+録画)オプション x 1式
出荷時設定書、USB ドングル、証書
- トランスコードオプション x 1式
出荷時設定書
- アーカイブオプション
出荷時設定書、証書

■ 当社ホームページについて

MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーを始めとする当社の最新情報をホームページ (<http://www.mediaedge.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバー、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

I-3. 留意事項

■ 表記について

- 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

■ ご注意

- 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。

■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部に GNU 一般公衆利用許諾 (GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ) または GNU 劣等一般公衆利用許諾 (GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ) に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

GPL/LGPL 該当のソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

II. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーについて

この章では、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの概要や各部の機能について説明します。

II-1. 概要と特長

■ II-1-1. MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーの概要

本製品は、MEDIAEDGE マルチデバイスサーバーアプリケーションを含む、関連サーバーソフトウェアをプリインストールし、MEDIAEDGE のシステム構成に合わせて、最適な状態にてお使い頂けるサーバーです。2Mbps の映像なら、最大 250 本のファイル配信を同時に実行する能力を備えています。※1、※2

※1 MEDIAEDGE マルチデバイスサーバー内蔵ストレージを使用しての当社検証結果となります。実際の配信性能は、システム構成、ネットワーク環境等により異なり、性能保証値ではありません。

※2 VOD 配信時またはライブ映像1本入力時の場合の結果です。トランスコード処理が実行されているときなどは配信能力が停止する場合があります。

■ II-1-2. 主な機能

- WEB ブラウザ上で動作することができ、登録した VOD やライブのコンテンツを PC やタブレットなど幅広いデバイス上で視聴することが可能
- メタ情報をもとにコンテンツ検索
- 当社の CLEB や IP カメラの映像のライブ配信が可能（ライブ（＋録画）オプション利用時）
- ライブ配信時の同時録画も可能（ライブ（＋録画）オプション利用時）
- ライブ映像配信時に動画の画質や音声を変換することが可能（トランスコードオプション利用時）
- 登録コンテンツを LTO-6 テープにアーカイブすることが可能（アーカイブオプション利用時）

■ II-1-3. 対応する WEB ブラウザやエンコーダ

●対応するWEBブラウザ（操作・視聴）

Microsoft Internet Explorer 11以降 ※1 ※2

Microsoft Edge

Google Chrome 41.0以降

Safari (iOS) 5.0以降

●対応するエンコーダ

MEDIAEDGE CLEB-P3、 MEDIAEDGE LEB Express2、MEDIAEDGE LEB PRO2、IPカメラ※3

※1. Adobe Flash Playerの最新版がインストールされていること

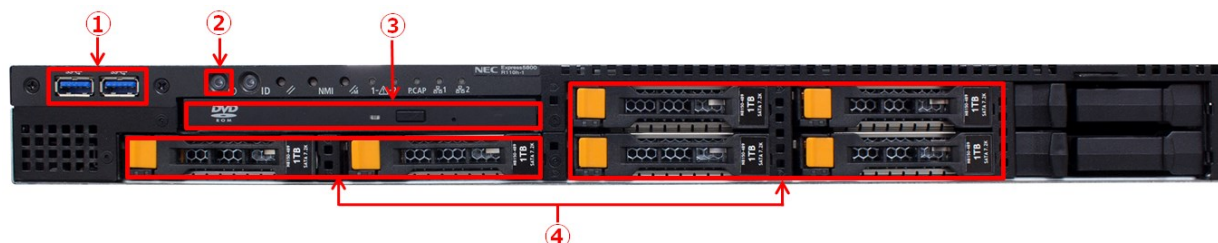
※2. 互換表示モードはOFFとなっていること

※3. 動作確認済みのIPカメラはAppendixに記載

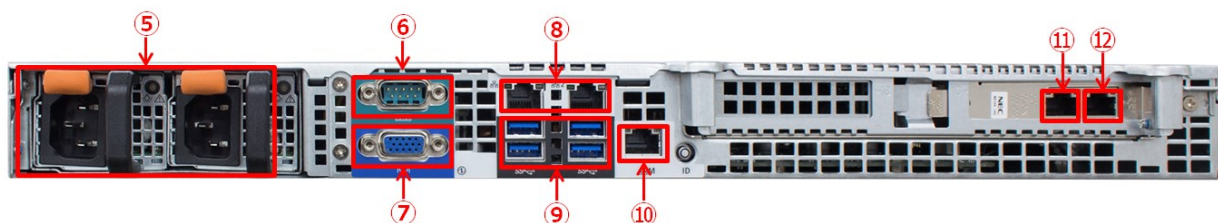
II-2. 各部の名称

■ II-2-1. 本体前面・背面

■ 前面端子説明



■ 背面端子説明



① USB ポート	キーボード、マウス用です。
② 電源ボタン・LED	サーバーを起動するボタンです。電源が入ると LED が点灯します。
③ DVD-ROM	DVD 光学ドライブです。
④ HDD スロット	1TB × 6 本装着されています。(RAID5 + ホットスワップ1)で構成されています。
⑤ AC インレット 1・2	付属の AC 電源ケーブルを接続します。
⑥ RS-232C ポート	UPS などのシリアル機器を接続する場合に使用してください。
⑦ 背面 RGB コネクタ	操作用ディスプレイを接続します。 1024x768 または 1280x1024 の解像度が表示できる RGB ディスプレイを使用してください。
⑧ 補助用 LAN ポート	オンボードの LAN ポート(1～2)です。通常は使用しませんが、使用する際は Windows の設定から有効にして使用してください。
⑨ USB3.0 ポート	キーボードやマウス及び dongle 用です。 ライブ(+録画)オプションご購入時は、USB ポートのひとつに USB Dongle が挿入されます。
⑩ 管理用 LAN ポート	マネジメント用の LAN ポート(M)です。通常は使用しません。
⑦ 背面 RGB コネクタ	操作用ディスプレイを接続します。 1024x768 または 1280x1024 の解像度が表示できる RGB ディスプレイを使用してください。
⑪ LAN ポート B	デコーダへの配信、エンコーダからの受信用は LAN ポート A もしくは LAN ポート B を使用ください。デコーダへの配信ポートと、エンコーダか

⑫ LAN ポート A	らの受信ポートを分けるとパフォーマンスが向上します。LAN ケーブルはカテゴリ5e 以上のケーブルを使用してください。
-------------	---

●サーバーラックへの実装

サーバーのラックへの実装は、角穴ラックの場合、前後のポストにワンタッチで装着することが可能です。丸穴の場合、レールの前後のねじを取り外し、ねじの受け側の金属部品を外します。この状態で、外したねじを使用してラックにレールを固定します。

■ II-2-2. ランプの種類



① Powerランプ	本機の電源状態を表す。
② UID(ユニットID)ランプ	ユニットIDランプのON/OFF状態を表します。
③ STATUSランプ 1,2	本機の状態を表します。
④ Power Cappingランプ	パワーキャッピング機能の有効/無効を示す。
⑤ LINK/ACTランプ	ネットワーク接続の状態を表す。

ランプの詳細は NEC フィールディングのマニュアルを参照してください。

II-3. システムの起動と停止

■ II-3-1. システムの起動

- (1) ケーブル、機器、 dongle を接続します。UPS がある場合には UPS の電源を入れてください。
 - (2) 本体の電源ボタンを押してください。
Windows Server 2012 R2 が起動されます。
 - (3) 起動が完了すると、ログオンしなくても配信サービスは動作しています。
- ※ Windows のユーザー、パスワードは設定情報を参照ください
(標準はユーザー: Administrator、パスワード: Mediaedge4)

■ II-3-2. システムの停止

- (1) サーバーの Windows にてシャットダウン操作を行ってください(シャットダウンにはログオンする必要があります)。
- (2) サーバーの電源が切れるか、モニターへの信号がないなど電源を切ってもよい状態になったことを確認してください。
- (3) いつまで経ってもシャットダウンが実行されない場合やフリーズした場合で、サーバーの電源ボタンが点灯している場合には、サーバーの電源ボタンを長押ししてサーバーの電源を切ってください。
- (4) UPS がある場合には UPS の OFF ボタンを押し、UPS を停止してください。

II-4. その他のシステム設定

■ II-4-1. システムの時刻補正

タイムサーバーがある場合、定期的に自動で補正されます。設定は、以下のように行います。

- (1) 「コントロールパネル」の「日付と時刻の設定の変更」を開きます。
- (2) 「インターネット時刻」タブを選択し、「設定の変更」ボタンを押します。
- (3) 「インターネット時刻サーバーと同期する」にチェックを入れ、サーバーにタイムサーバーの IP アドレスを入力して「OK」ボタンを押します。

タイムサーバーがない場合には、定期的に手動でサーバーの時刻を修正してください。操作は、以下のように行います。

- (1) 「コントロールパネル」の「日付と時刻の設定の変更」を開きます。
- (2) 「インターネット時刻」タブを選択し、「日付と時刻の変更」ボタンを押します。
- (3) 正しい日時を入力し、「OK」ボタンを押します。

III. Appendix

III-1. ハードウェア仕様・対応ファイル形式・標準設定・外形サイズ

■ハードウェア仕様(基本仕様) 型番:ME-MDS-NG6R

OS		Windows Server 2012 R2 Standard for Embedded Systems (x64/5CAL) 日本語版	
CPU		Intel® Xeon® プロセッサー E3-1230v5(3.4GHz)	
チップセット		Intel® C236 チップセット	
メモリ		16GB (PC4-2133 Registered ECC 4GBx4)	
ストレージ		1TB(SATA 2.5"7200rpm)×6 台 RAID5+ホットスペア 1 で運用 システム容量:100GB、データ容量 3.5TB ホットスワップ対応	
光学ドライブ		SATA DVD-ROM	
ネットワークコントローラ		合計 5 ポート ・ストリーム配信/受信用 2 ポート 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、 背面拡張スロット×2 ・リモート管理、制御用:2 ポート:オンボード(工場出荷時無効) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、背面×2 ・マネージメントボード専用:1 ポート(OS からの使用不可) 1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T 対応、RJ-45、背面 ×1	
インタフェース	ディスプレイ	アナログ RGB×2(ミニ D-Sub15 ピン、前面×1、背面×1)	
	シリアル	シリアルポート×1(RS-232C 規格準拠/D-Sub9 ピン、シリアルポ ート A、 背面×1)	
	USB	USB3.0×6(前面×2、背面 x4)	
消費電力 100V	消費電力(AC): 待機時 109W 高負荷時 227W 皮相電力(AC): 待機時 111VA 高負荷時 232VA 発熱量: 待機時 392kJ/h 高負荷時 818kJ/h		
消費電力 200V	消費電力(AC): 待機時 110W 高負荷時 222W 皮相電力(AC): 待機時 112VA 高負荷時 227VA 発熱量: 待機時 395kJ/h 高負荷時 799kJ/h		
最大消費電力	359VA /357W(100V 最大構成時)		
騒音レベル (待機時 / 高負荷時)	38dBA /49dBA(25℃) 、47dBA /59dBA(35℃) 測定方式:ISO7779 基準, 傍観者位置測定 (床上: 1.5m, サーバとの距離: 1m), サーバ設置(床上: 0.75m)		
環境温度/湿度	温度	動作時	5℃～40℃
		保管時	-10℃～55℃

	湿度	動作時	20～80%(結露しないこと)
		保管時	20～80%(結露しないこと)
外形サイズ (W×D×H mm)	1U ラックマウント型 444.0(W)×615.2(D)×43.6(H)mm(フロントベゼル/スライドレール/突起物含まず) 482.4(W)×678.2(D)×44.1(H)mm(フロントベゼル/スライドレール/突起物含む)		
質量	約 13.7kg(レール含む)		
主な製品構成品	・サーバー本体 ・電源ケーブル×2 ・USBキーボード ・USBマウスなど		

システム構成により、記載の基本仕様が変更される場合があります。

■使用する通信ポート

- Inbound: TCP 80 番 (WEB ページアクセスの HTTP 用。HTTPS に関してはお問合せください)
- Inbound: TCP 1935 番 (動画ストリーミング用)

■対応するファイル形式※¹

	アップロード時のトランスコード 設定 無効	アップロード時のトランスコード設定 有効※ ²
ファイルフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ● MPEG-4 (ISO/IEC 14496-14) 	<ul style="list-style-type: none"> ● MPEG-4 (ISO/IEC 14496-14) ● MPEG2-TS(ISO/IEC 13818-1) ● MPEG2-PS(ISO/IEC 13818-1) ● WMV(Windows Media(ASF)) ● MOV(QuickTime)
動画符号化方式	<ul style="list-style-type: none"> ● H.264 (ISO/IEC 14496-10) 	<ul style="list-style-type: none"> ● H.264 (ISO/IEC 14496-10) ● MPEG2(ISO/IEC 13818-2) ● Windows Media Video 9
音声符号化方式 (再生は 2ch)	<ul style="list-style-type: none"> ● AAC (ISO/IEC 14496-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ● AAC (ISO/IEC 14496-3) ● MPEG2 Audio (ISO/IEC 13818-3) Layer-2 ● MPEG1 Audio (ISO/IEC 11172-3) ● Windows Media Audio

※¹ 登録ファイルのトランスコード設定を追加することで対応することが可能です。トランスコードの設定に関してはお問い合わせください。

※² トランスコード設定を有効にすると、アップロードされたファイルは全て指定されたエンコード設定でトランスコードされます。

■対応する WEB ブラウザ

- Internet Explorer Ver. 11.0 以降 ※3 ※4
- Microsoft Edge
- Google Chrome Ver.41.0 以降
- Safari (iOS) Ver.5.0 以降

※3 Adobe Flash Player がインストールされていること

※4 互換表示モードは OFF であること

■動作確認済みネットワークカメラ(2015 年 11 月現在)

- SONY 製 SNC-XM631、SNC-VB600、SNC-VB630
- Panasonic 製 WV-SF135、WV-SF138、AW-HE55
- AXIS 製 Q7401、M7016、M7001

■対応する LTO サーバー

- 朋栄製 LTS-60

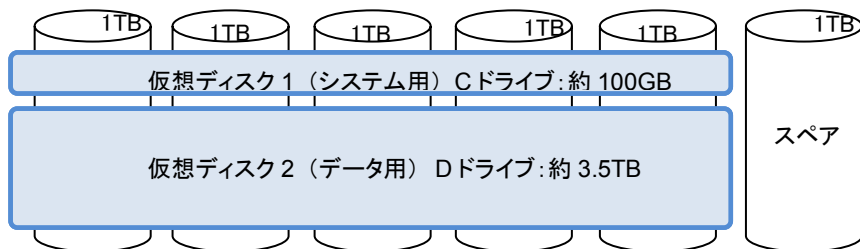
■標準設定情報

コンピュータ名	
コンピュータ名	mediaedge-svr
ワークグループメンバ	WORKGROUP

ネットワーク	
IP アドレス	192.168.1.1 / 192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0 / 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	なし
DNS サーバー	なし

DHCP サーバー	
サービス	自動起動
IP アドレス	192.168.1.101～192.168.1.200 / 192.168.2.201～240
サブネットマスク	255.255.255.0

DNS サーバー	
サービス	自動起動
参照設定	mediaedge-svr <---> 192.168.1.1

ディスク構成	
<p>1TB(SATA)の物理ディスクを 6 台搭載しています。</p> <p>6 台のうち 5 台を RAID-5 で仮想ディスクを 2 つ作成し、それぞれを 1 つのパーティションとして割り当てています。</p> <p>残り 1 台をグローバルホットスペアとして割り当てています。</p>	
 <p>The diagram illustrates a RAID-5 configuration with 6 1TB SATA disks. Five disks are used to create two virtual disks: '仮想ディスク 1 (システム用) Cドライブ: 約 100GB' and '仮想ディスク 2 (データ用) Dドライブ: 約 3.5TB'. The sixth disk is designated as a 'スペア' (Spare) for global hot spare functionality.</p>	

■外形寸法図

